

創造的批判精神を持って



総長・学長

酒井 正三郎

Shozaburo SAKAI

ご卒業おめでとうございます。中央大学の学位記を取得される皆さんの在学中の研鑽と健闘を讃えるとともに、中央大学の卒業・修了を心よりお祝い申し上げます。また学位記を授与される皆さんのご両親、ご家族、そして関わり深い方々にも、教職員一同とともにお祝いを申し上げます。

本学は「實地應用ノ素ヲ養フ」を建学の精神に掲げ創設されました。本学の創設者は、経験を尊び實際を重んずる学風を育て、個人の自由と自助の確立、実証精神と在野精神の涵養、自由闊達な進取の精神などを強く訴えました。この中央大学の誇るべき伝統である実学教育は、今日に至るまで脈々と受け継がれ、研究・教育活動の中に生かされています。この実学教育は、単に実用に即した知識の修得をめざすものではありません。それは学問的探究を通して創造的批判精神を養い、社会での課題に応える知性を育成することに核心があります。この思いは、現在「行動する知性。－Knowledge into Action－」というユニバーシティ・メッセージにも込められています。

世界では長寿化が進んでいます。昨秋、政府も「人生100年時代構想会議」を発足させました。この「人生100年時代」という言葉は、英国ロンドンビジネススクールのリンダ・グラットン教授が長寿時代の生き方を説いた著書『LIFE SHIFT(ライフ・シフト)』で提言した言葉です。グラットン教授は、長寿化によって、引退後に余生を楽しむという人生は終わると言っています。今までの人生のように、「教育」「勤労(仕事)」「引退」という各ステージが直線的に築かれるのではなく、個人の状況に応じてこれらの3つのステージが入れ替わることや繰り返すことが起きるとしています。自分の理想の人生を追い求め、多様な価値を追求する社会が訪れると説いています。大学は、社会にはじめて出るような皆さんを対象にした教育だけではなく、今後は社会で働いている方々を対象にしたリカレント教育にもいっそう力を入れていくことになるでしょう。社会に出てひと回りもふた回りも成長された皆さんが、ふたたび中央大学の門をたたき目が来ることを楽しみにしています。

学位記の授与を祝し、希望に満ちて中央大学の学窓から新たな旅立ちをされる皆さんが、大志を抱き、心身ともに健やかで実り多き人生を歩まれ、明るい未来を切り拓いていく推進役として成長されることを心より祈念いたしまして、お祝いのご挨拶いたします。